



【調査の目的】

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育政策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【実施校数】

小学校13校、中学校5校、義務教育学校1校

【実施児童生徒数】（教科に関する調査）

小6・義6年生 747名
中3・義9年生 725名

【調査内容】

①教科に関する調査

- ・小学校(国語, 算数, 理科) ※義務教育学校前期課程を含む
- ・中学校(国語, 数学, 理科) ※義務教育学校後期課程を含む

②質問調査(児童生徒に対する調査, 学校に対する調査)

※原則すべての児童生徒を対象にオンライン方式にて実施

【実施日】

令和7年4月17日(木) ※中学校理科は4/14~17の指定日

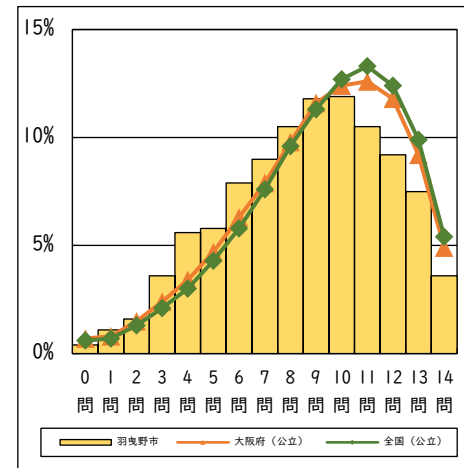
今回お知らせする結果は、学力や学習状況の一部であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。

小学校

国語

小学校国語	学習指導要領の内容		平均正答率(%)		
			羽曳野市	大阪府	全国
	知識及び技能	言葉の特徴や使い方にに関する事項	76.1	77.0	76.9
思考力、判断力、表現力等	情報の扱い方にに関する事項	我が国の言語文化に関する事項	56.4	61.5	63.1
		話すこと・聞くこと	76.5	80.3	81.2
	書くこと	読むこと	59.4	65.0	66.3
		書くこと	64.1	67.1	69.5
		読むこと	51.1	56.1	57.5

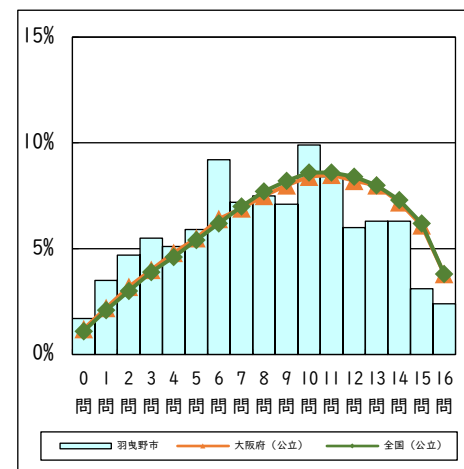
- 「書くこと」において2年連続で改善が見られました。(全国との比較)
- 漢字を文の中で正しく使うことができています。
- 目的に応じて文章と図表から必要な情報を見つけることに課題があります。



算数

小学校算数	学習指導要領の領域および評価の観点		平均正答率(%)		
			羽曳野市	大阪府	全国
	領域	数と計算	57.2	62.4	62.3
		図形	49.7	55.7	56.2
		測定	48.0	53.8	54.8
		変化と関係	52.2	57.3	57.5
		データの活用	57.0	61.5	62.6
評価の観点	知識・技能	59.4	65.1	65.5	
	思考・判断・表現	42.0	47.9	48.3	

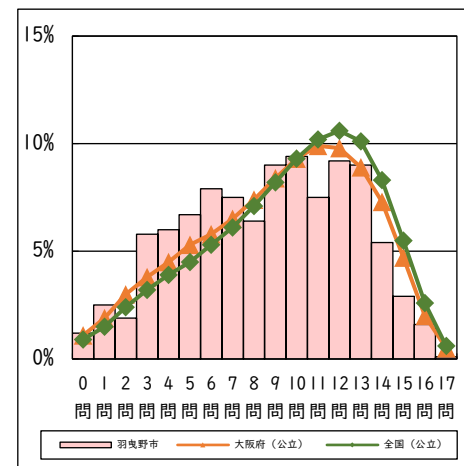
- 分母のちがう分数のたし算など、計算がよくできています。
- 棒グラフなど、グラフから項目間の関係を読み取ることができています。
- 計算の意味や分数の概念について数や言葉で説明する問題に課題があります。



理科

小学校理科	学習指導要領の領域および評価の観点		平均正答率(%)		
			羽曳野市	大阪府	全国
	領域	エネルギー	41.0	43.9	46.7
		粒子	47.4	49.4	51.4
		生命	42.7	49.0	52.0
		地球	60.5	63.9	66.7
	評価の 観点	知識・技能	49.5	52.7	55.3
思考・判断・表現		51.9	56.2	58.7	

- 電流がつくる磁力や電磁石の強さについての知識が身に付いています。
- 種子の発芽の条件など共通点や違いをもとに表現することに課題があります。



【参考資料】

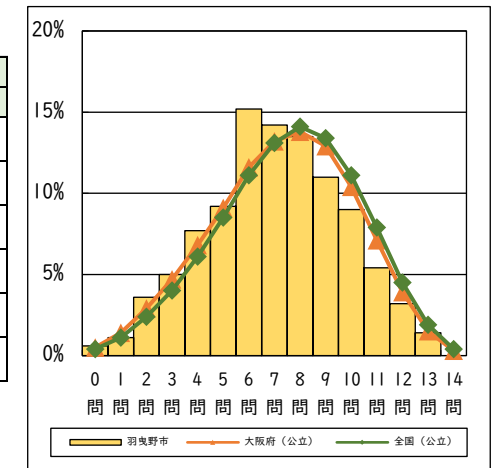
○国立教育政策研究所『令和7年度 全国学力・学習状況調査 報告書・調査結果資料』 <https://www.nier.go.jp/25chousakekkahoukouku/>

中学校

国語

中学校国語	学習指導要領の内容		平均正答率(%)		
			羽曳野市	大阪府	全国
	知識及び技能	言葉の特徴や使い方にに関する事項	48.1	47.8	48.1
思考力、判断力、表現力等	情報の扱い方にに関する事項	我が国の言語文化に関する事項	-	-	-
		話すこと・聞くこと	-	-	-
	書くこと	読むこと	48.5	50.7	53.2
		書くこと	46.6	50.5	52.8
		読むこと	59.9	61.2	62.3

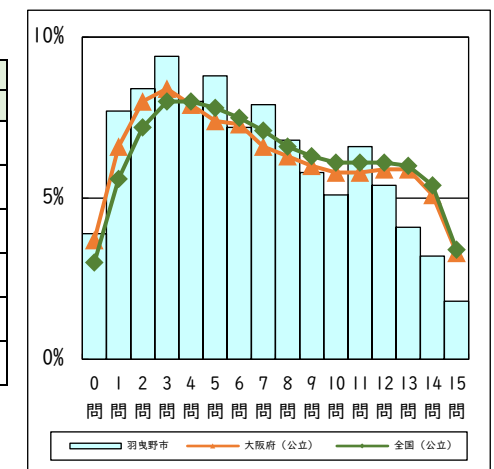
- 「読むこと」において2年連続で改善が見られました。(全国との比較)
- 事象や行為を表す言葉の理解や文脈に即した漢字を使うことができています。
- 表現の工夫や根拠を明確にして書くこと(記述式の問題)に課題があります。



数学

中学校数学	学習指導要領の領域および評価の観点		平均正答率(%)		
			羽曳野市	大阪府	全国
	領域	数と式	39.2	42.4	43.5
		図形	42.4	46.2	46.5
		関数	40.8	46.3	48.2
		データの活用	52.9	54.9	58.6
評価の 観点	知識・技能	50.4	52.9	54.4	
	思考・判断・表現	32.2	37.4	39.1	

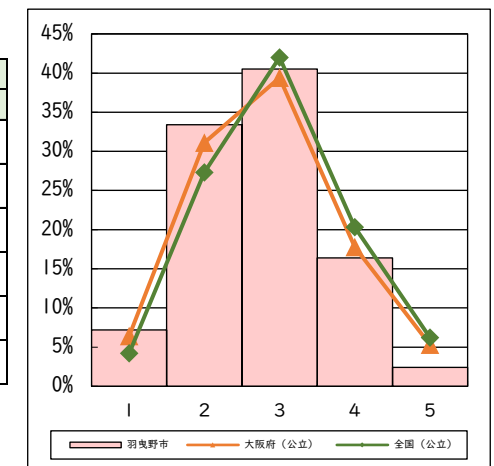
- 数量を文字式に表したり、目的に応じて式を変形することができています。
- 多角形の外角の意味など、基本的な知識が身に付いています。
- 関数の内容で、特にグラフから読み取った情報をもとに説明することに課題があります。



理科

中学校理科	全日程共通の公開問題における 学習指導要領の領域および評価の観点		平均正答率(%)		
			羽曳野市	大阪府	全国
	領域	エネルギー	56.4	52.7	51.9
		粒子	49.0	53.2	56.8
		生命	28.6	27.7	29.7
		地球	30.1	33.5	36.2
	評価の 観点	知識・技能	40.7	42.0	42.2
思考・判断・表現		46.6	49.2	53.9	

- 電気などのエネルギーや、生物などの生命に関する知識が見に付いています。
- 身の回りの事象から生じた疑問や問題を解決するための課題設定をするに課題があります。



○大阪府教育庁『全国学力・学習状況調査の結果』 <https://www.pref.osaka.lg.jp/0180080/shochugakko/zennkoku/>